

作品名 「松に秋草図」

作者名 「長谷川等伯」

どこまでのびゆくのだろう。屏風の大きさでは表すことが難しい松のスケールを見事に表現してみせた一枚、天までのぼりゆく松。

作者は、長谷川等伯。かの有名な雪舟の作品にえいきょうを受け、えがいた作品は国宝にあたる。

この作品は「松に秋草図」という作品である。名前の中に出てくる「秋」は松の下にあざやかにえがかれた、ふようや、きくの花が季節を表現している。

さて、木の幹に目を向けてみよう。木の皮の部分が細やかなタッチでえがかれていることが分かるだろう。色づかいも、ただの茶色をぬっているわけではない。写真のように、より本物の木に近い色合いで表現している。美しい花と比べることで、松の力強さを感じる。

見れば見るほどに、屏風のおく深さに吸い込まれる。みなさんも屏風の世界に入りこんでみてはいかがだろうか。

